

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

受理番号	学校	教科	種目	学年
102-102	高等学校	地理歴史科	地図	
発行者の 番号・略称	教科書の 記号・番号	教科書名		
46 帝国	地図-702	新詳高等地図		

1. 編修の趣旨及び留意点

●グローバル化や情報化、少子高齢化などの社会の急速な変化を捉えながら、平和で民主的な国家及び社会を形成するために必要な資質・能力を育成できる地図帳を目指して編修した。特に、これからの社会を生きていく高校生に対し、“現代社会の世界・日本の現状を的確に捉え、これからの時代を切り開く創造力”が育成できるように留意した。

2. 編修の基本方針

●教育基本法第2条に示される教育の目標を達成するために、下記のような基本方針に基づいて編修した。

1. 世界・日本各地を多面的・多角的な視点で把握できる地図帳

- 基本図・資料図を中心に、鳥瞰図や都市圏拡大図などさまざまな表現の地図を掲載し、世界・日本各地の地理的な諸事象を多面的・多角的に捉えられるようにした。

2. 世界や地域の諸課題の解決に向けて主体的に考えられる地図帳

- 特集ページ「Focus」を設けて、世界各地の地域課題を把握し、地図や資料を分析しながらその背景や影響について主体的に深められるようにした。
- 地図の読み解きを促す「読図」コーナーを随所に設け、地理的な見方・考え方を働かせながら地図を読み取る力を身に付けられるようにした。
- 自然環境の保全や自然災害・防災を考える特集ページ、GIS（地理情報システム）を活用して地域の課題を分析する特集ページを設け、これからの時代を切り開く素地を養えるようにした。

3. 対照表

図書の構成	特に意を用いた点や特色	該当箇所
全体を通して	<ul style="list-style-type: none"> ●日本・世界の自然、産業、歴史など、さまざまな情報を地図上に幅広く取り上げ、空間認識をともなった幅広い知識や教養が身に付くように配慮した。(第1号) ●地理的な見方・考え方を働かせる問い「読図」を随所に設け、生徒が主体的に地図を読み取る力を身に付けられるようにした。(第2号) ●資料図ページには「SDGs」に関する問いを設け、地図などの資料から持続可能な開発目標について考えられるようにした。(第4号) ●二次元コードを随所に配置し、ウェブコンテンツを活用して理解を深められるようにした。(第2号) 	本書全体
世界の国々	<ul style="list-style-type: none"> ●世界の国々の位置・国名・首都名などを端的に把握できるようにした。(第1号) ●おもな国の国旗から、国旗への関心が高められるようにした。(第5号) 	p.1-2
世界の基本図・拡大図・都市図	<ul style="list-style-type: none"> ●基本となる地図で国名や基礎的な地名、自然地域名称などをおさえ、拡大図で詳細な地名や自然地域名称を確認できるようにした。(第1号) ●拡大図に「植生表現」や「土地利用表現」を用いることで、それぞれの地域でどのような土地利用がなされながら人々の生活が営まれているのかが分かるようにした。また、各地でさかんな鉱工業についても多彩な絵記号を配し、読み取れるようにした。(第2号) 	p.5-10 など

世界の基本図・ 拡大図・都市図 (続き)	<ul style="list-style-type: none"> ●「世界自然遺産」,「ラムサール条約登録湿地」などの特殊凡例を配し,環境への関心が高められるように配慮した。(第4号) ●同縮尺・同緯度の日本図を随所に用意し,日本との位置関係や大きさを比べながら世界を学べるように配慮した。(第5号) 	
世界の鳥瞰図	<ul style="list-style-type: none"> ●中国・ヨーロッパ・北アメリカでは迫力ある鳥瞰図を掲載し,地域の姿をより具体的・視覚的に捉えられるようにした。(第1号) 	p.11-12 p.47-48 p.77-78
世界の地域資料 図	<ul style="list-style-type: none"> ●世界の地域ごとに歴史や民族,農業や工業などの産業,人々の暮らしのようすが分かる資料図を豊富に掲載した。(第1号) ●地域特集ページ「FOCUS」を設けて,世界各地の現状や課題に目を向け,新旧の地図を比較するなど,複数の資料を活用しながら課題を探究できるようにした。(第3号) 	p.17-18 など p.20,29-30, 44,65-66, 85-86,95,103
日本の位置とま わりの国々	<ul style="list-style-type: none"> ●日本の領土・領域や排他的経済水域を正しく掲載するとともに,日本の東西南北端の写真や,日本固有の領土に関する資料図も配することで,近隣諸国の中での日本の位置や,領土の広がりを理解できるようにした。(第5号) 	,p.105-106
日本の基本図・ 拡大図・都市図	<ul style="list-style-type: none"> ●基本図で日本の位置や47都道府県,主要な都市などをしっかりとおさえ,拡大図で各地方の詳細な地名や自然地域名称を確認できるように配慮した。(第1号) ●拡大図に各地でさかんな鉱工業の絵記号を配し,読み取れるようにした。また,日本のおもな都市に関しては都市図を多く掲載し,それぞれの都市の土地利用のようすなどから,人々の生活の営みが伝わるように配慮した。(第2号) ●「世界自然遺産」,「ラムサール条約登録湿地」などの特殊凡例を配し,環境への関心が高められるように配慮した。(第4号) ●地域の文化にとって重要な旧市町村名を字名で記載した。(第5号) 	p.107-120, 123-128, 131-136
日本の拡大都市 圏図	<ul style="list-style-type: none"> ●詳細な陸高で色分けした地図上に,活断層の分布や広域防災拠点,水門などを示し,地理的な特徴に応じた自然災害への備えの重要性が理解できるようにした。(第4号) 	p.121-122 p.129-130
世界の基礎資料 図	<ul style="list-style-type: none"> ●環境問題や資源・エネルギー問題,人口・食料問題など,現代社会が抱える諸課題を読み取れる資料図を多く配し,これらの諸課題の背景などを考えられるようにした。(第3号) ●農林水産業や工業などを捉える資料図を掲載し,社会を支える産業への理解を深められるようにした。(第2号) ●環境問題に関する特集ページを設け,さまざまな環境問題の分布や原因,各地での現状や未来予測を把握し,環境保全に向けての意識を高められるように配慮した。(第4号) 	p.137-154
日本の資料図	<ul style="list-style-type: none"> ●我が国の国土の自然環境や産業,交通などの幅広い知識と教養を身に付けられるよう,これらを系統적におさえられる資料図を豊富に掲載した。(第1号) ●防災の特集ページを設け,日本と世界における自然災害の特徴を理解できるようにした。また,過去の自然災害について被害状況がわかる地図や今後起こりうる自然災害のハザードマップなどを掲載し,地域性を踏まえて自然災害に備えることの大切さを学べるようにした。(第4号) 	p.155-160
GIS,地図投影法, 地図の歴史	<ul style="list-style-type: none"> ●地図の成り立ちやGISの役割や有用性を示し,地図やGISを目的や用途によって適切に選択・活用する力を養えるようにした。(第1号) 	p.161-164

統計資料	●世界・日本とも統計資料を充実させることで、数字に裏付けられた世界・日本の姿、位置づけを理解できるようにした。(第1号)	p.153-176
4. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色		
<p>1. すべての生徒に読みやすい地図帳</p> <ul style="list-style-type: none"> ①色覚に特性のある生徒でも識別しやすい色を使用した。 ②国名や首都名など重要な地名は、可読性の高いユニバーサルデザインフォントを使用した。 <p>2. 環境に優しい素材と堅牢な造本</p> <ul style="list-style-type: none"> ①紙は環境に優しく裏写りがしないものを使用した。 ②インキには、植物由来の油などを原料とするものを使用した。 ③長期の使用に耐えられるよう、本の綴じ目を糸かがりした上で糊付けし、丈夫な製本とした。 		

編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表, 配当時数表)

受理番号	学校	教科	種目	学年
102-102	高等学校	地理歴史科	地図	
発行者の 番号・略称	教科書の 記号・番号	教科書名		
46 帝国	地図-702	新詳高等地図		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

●社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせて課題を追究したり解決したりする学習を通し、平和で民主的な国家及び社会を形成するために必要な資質・能力を育成できる地図帳となるよう、以下の点に配慮した。

1. 世界の地域的特色や課題がわかる地図帳

- ・基本となる地図は標高で配色する「等高段彩表現」で統一した。また、段彩に鮮やかな緑色や明るい茶色などを用い、明るく見やすい配色を心がけた。
- ・拡大図を豊富に掲載した。拡大図では、「土地利用」や「植生」が分かる地図表現を導入したり、都市別の工業のようすが分かる工業記号を掲載したりすることで、生活文化や産業のようすが伝わるようにした。
- ・中国・ヨーロッパ・北アメリカには立体的に地形を捉えられる鳥瞰図を設けた。図中には生活、産業、著名な建築物などに関するイラストを配して、地域の特徴を概観できるようにした。
- ・世界各地の資料図を豊富に掲載した。地図やグラフを複合的に読み取り、自然環境や資源、産業、生活文化などに関する空間的な規則性、傾向性や関連する課題の要因を捉えられるようにした。

2. 日本の国土の在り方を探究できる地図帳

- ・日本の領土や排他的経済水域などが学べる地図や日本の北端から西端までを連続して見渡せる縮尺 500 万分の 1 の日本列島の地図を用意し、日本の国土の空間的な広がりや理解できるようにした。
- ・適切な縮尺の地図で日本全国を網羅し、日本の国土の空間的な広がりや、都市の分布などを捉えられるようにした。
- ・京阪神と東京の大都市圏には縮尺 50 万分の 1 の拡大図を設置した。また、福岡市や仙台市など、各地方の重要都市の都市圏も掲載し、都市圏や通勤圏などの地域構造を捉えられるようにした。
- ・東京都周辺と大阪湾周辺には詳細な陸高や地形のようすがわかる地図を新設した。断面図と合わせて地形のようすを読み解いたり、活断層の分布などから自然災害への備えについて考察したりできるようにした。
- ・自然災害・防災を考える特集ページを新設した。津波ハザードマップや治水地形分類図の読み取りなどから、地域性を踏まえた防災の重要性を理解できるようにした。
- ・GIS (地理情報システム) の特集ページを新設した。公共交通機関と高齢者の分布を重ねて地域の課題を考えるなど、GIS を活用して生活圏や将来の国土の在り方を探究できる資料を掲載した。

3. 「主題」や「問い」を中心にした学習に活用できる地図帳

- ・世界の地域ごとに特設ページ「Focus」を新設し、主題テーマをもとに新旧の資料図を比較するなどして地域の構造や変容を探究できるようにした。
- ・作業を伴う具体的な問い「読図」を随所に設置し、地理的な見方・考え方を働かせながら地図を読み取ることができるようにした。資料図ページには「SDGs」に関わるテーマが考えられる問いも設置した。
- ・二次元コードを随所に設置し、ウェブコンテンツを活用して学習が深められるようにした。

4. すべての生徒への見やすさを追究した地図帳

- ・色覚に特性がある生徒でも色を判別して地図が読めるよう、色彩表現を工夫した。また、色彩だけでは判読が難しい場合は、模様を入れるなどして判別しやすい表現を追究した。
- ・タイトルやインデックス、世界の国名や首都名、日本の地名にユニバーサルデザインフォントを採用し、すべての生徒に見やすく読みやすいよう配慮した。

2. 対照表				
図書の構成・内容	構成・内容の特色	学習指導要領の内容		該当箇所
		地理総合	地理探究	
全体を通して	<ul style="list-style-type: none"> ・「読図」コーナーを随所に設け、作業を伴う具体的な学習を通して地理的な見方・考え方を身に付けられる。 ・「SDGs」コーナーを設け、地図から持続可能な開発目標について考えることができる。 ・ウェブコンテンツを通して学習を深めることができる。 	全体	全体	全体
世界の国々	<ul style="list-style-type: none"> ・世界の大陸や海の分布、我が国の国土や国々の位置関係、を大きく捉えることができる。 ・EU や ASEAN などの地域機構を掲載しており、国家間の結びつきを一覧することができる。 	A(1) B(1)(2)	B(1)(2) B(1)(2)	p.1-2
世界の基本図・拡大図・都市図	<ul style="list-style-type: none"> ・さまざまな図法、縮尺の地図を掲載しており、目的に応じて活用することができる。 ・土地利用や植生がわかる拡大図を豊富に掲載しており、人々の生活文化が地理的環境から影響を受けたり、影響を与えたりして多様性をもつことを読み取ることができる。 ・各地域の拡大図には工業の絵記号を掲載しており、発達する工業の種類や立地を読み取ることができる。 ・港湾・空港などの施設、道路や線路・航路を示しており、交通網の分布や交通機関による結びつきなどを読み取ることができる。 ・特徴的な自然地形名を地図中に表記しており、その地形がみられる場所の地理的環境を考察することができる。 	A(1) B(1)(2) B(1) B(1)(2) B(1)(2)	A(1)-(5) B(1)(2) A(1)(2) B(2) A(2)B(2) A(3)B(2) A(1)	p.5-10, など
世界の鳥瞰図	<ul style="list-style-type: none"> ・中国・ヨーロッパ・北アメリカには鳥瞰図を設けて、地域の特徴を概観したり基本図と比較しながら地形を読み取ったりできる。また、図内に配置されたイラストから生活・文化とのつながりを考察することができる。 	B(1)	B(2)	p.11-12 p.47-48 p.77-78
世界の地域資料図	<ul style="list-style-type: none"> ・特集ページ「Focus」を地域ごとに設置し、地図や資料を比較しながら主題を探究することができる。 ・各地域の自然環境、資源、産業、民族・宗教などの資料図をバランス良く配置しており、さまざまな規模の地域を世界全体から偏りなく学習することができる。 	B(1)(2)	B(2) A(1)-(5) B(1)	p.20 など p.17-18 など
日本の位置とまわりの国々	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の国土が大小多数の島々から構成されていることが理解できる。また北方領土や竹島、尖閣諸島については位置と範囲を拡大図や写真とあわせて確認することができる。 	A(1)	C(1)	p.105-106
日本の基本図・拡大図・都市図	<ul style="list-style-type: none"> ・適切な縮尺の地図で日本全国を網羅しており、日本の国土の空間的な広がりや、都市の分布などを捉えられる。 ・京阪神と東京の大都市圏には 50 万分の 1 の拡大図を、福岡市や仙台市など各地方の重要都市には都市図を掲載し、都市圏や通勤圏などの地域構造を捉えられる。 ・港湾・空港などの施設、道路や線路・航路をわかりやすく示しており、交通網の分布や交通機関による結びつきなどを読み取ることができる。 ・特徴的な自然地形名を地図中に表記しており、その地形がみられる場所の地理的環境を考察することができる。 	C(1)(2) C(1)(2) C(1)(2) B(1)	C(1) C(1) C(1) A(1)C(1)	p.107-120, など

図書の構成・ 内容	構成・内容の特色	学習指導要領の内容		該当 箇所
		地理総合	地理探究	
日本の拡大 都市圏図	<ul style="list-style-type: none"> ・ 詳細な土地の高さ(陸高)を示した地図や断面図を掲載し、地域の地理的課題を多面的・多角的に考察する手法を身に付けることができる。 ・ 地図上に活断層の分布や広域防災拠点、水門などを示し、地理的な特徴に応じた自然災害への備えについて考察することができる。 	C(1)(2)	C(1)	p.121-122 p.129-130
		C(1)(2)	C(1)	
世界の基礎 資料図	<ul style="list-style-type: none"> ・ 環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題などの資料を掲載しており、地球的課題を大観し理解できる。 ・ 世界の自然環境、資源、産業、交通・通信、観光、人口、都市・村落、生活文化、民族・宗教に関する基礎資料を掲載しており、系統地理的に考察することができる。 	B(2)	A(1)	p.137-154
日本の資料 図	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日本の自然環境や資源、産業、人口に関する資料を掲載しており、国土の特色を考察したり、日本が抱える地理的な諸課題を探求したりすることができる。 ・ 防災に関する特集ページを設置し、同じ地域の地形図とハザードマップを比較して読み取り、地域性をふまえた防災の重要性について考えることができる。 	B(1)(2)	C(1)	p.155-160
		C(1)	C(1)	
GIS	<ul style="list-style-type: none"> ・ GIS が社会の様々な場面で役立っていることを示し、有用性を理解した上で目的に応じた活用を促すことができる。 ・ GIS を活用して実際の地域を分析できる資料図を掲載し、生活圏の諸課題や将来の国土の在り方を探究・構想するための手法を理解することができる。 	A(1)	C(1)	p.161-162
		C(2)	C(1)	
地図投影法	<ul style="list-style-type: none"> ・ さまざまな図法の特色や用途を体系的に示し、地図の役割や有用性を理解することができる。 ・ インターネットにおける地図サイトの活用例を示し、課題を探究する際の手法として理解することができる。 	A(1)	A(1)-(5) B(1)(2)	p.163-164
		A(1)	C(1)	
統計資料	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地理的事象の基礎データを掲載しており、現代世界を系統地理的・地誌的に考察することができる。 	B(1)(2) C(2)	A(1)-(5) B(1)(2) C(1)	p.165-176